

# 新川校区

## 地域計画【第2期】

～地域ぐるみの支え合い・明るく  
住み良い、ふるさと新川～



平成29年11月

新川校区コミュニティ推進協議会

# 目 次

## 1 新川校区の概要

◆人口と世帯数動向表【表1】

◆校区内の高齢化等分布表【表2】

◆主な地域課題

## 2 新川校区地域計画【第2期】について

## 3 本計画策定の趣旨

## 4 地域のめざす将来像

## 5 課題解決の方向性

◆コミュニティ構成団体等の主な年間活動表【表3】

◆新川校区コミュニティ運営組織図【図1】

## 6 地域課題の解決に向けて

## 7 おわりに



六角堂から望む新川校区

## 1 新川校区の概要

新川校区は宇部市の中央南端部にあり、南は瀬戸内海に面した港湾、工場群地域です。西は鶉の島校区に接し、東は真締川を挟んで上宇部・琴芝・神原校区に接しています。北部は県道琴芝際波線を幹線として、小羽山団地、藤山校区につながる丘陵で、緑に囲まれた住宅地域となっています。校区面積は4.71km<sup>2</sup>（南北約4.5km、東西約1km）の南北に長い校区です。校区の中央部には宇部市の陸の玄関口である宇部新川駅やバスターミナルがあり、周辺は宇部の中心市街地として賑わった商業地域ですが、現在は中心市街地の活性化に向け、官民協働で様々な取り組みがなされている地域でもあります。（「宇部市にぎわいエコまち計画 平成27年3月31日策定」参照）

校区内には、渡辺翁記念会館、宗隣寺、沖ノ山電車竪坑石垣、旧桃山1号配水池監視廊入口、桃山配水計量室（通称「六角堂」）、宇部護国神社、黄幡神社、旧宇部市立図書館（郷土資料館）などの豊かな歴史資源があり、山口大学医学部や附属病院、文化会館、西部体育館、武道館、新川保育園、桃山保育園、新川小学校、桃山中学校など医療、文化・スポーツ、子育て・教育に係わる施設も充実しています。さらに「新川」という校区名の由来をつくった真締川。その流域には、14橋もの橋がかかり、この流域を中心に校区内には、現在40点を超える野外彫刻作品が展示されています。こういった橋と親水公園と彫刻は貴重な地域資源の一つとなっています。

また、マンション建設が相次ぎ、若い世帯の流入もあり、校区全体としては、人口、子どもの数ともに増加傾向（【表1】参照）にあります。校区の特徴としては、校区の中央を横断している市道小串通り鍋倉線（通称産業道路）を境にして、南側（中心市街地を含む地域）と北側、そして校区内で個別の自治会を構成している15棟のマンション等（医大関係宿舎2棟、借り上げ住宅1棟を含む）それぞれにおいて、人口減少、少子化、超高齢化の進行の速度や度合、影響などに大きな違いのある地域であると言えます。（【表2】参照）

新川校区は宇部市の中核に位置し、これまでも地域の伝統文化や歴史、教育を大切に、祭りやイベントで地域を盛り上げ、人と人との交流から生まれる絆を大切にしてきた地域です。その地域力を、今後は、「宇部市にぎわいエコまち計画」の進捗状況とも絡め、校区内の地域特性を校区全体の総合力として活かしていける地域コミュニティづくりにつなげていくことが必要となっています。

### ◆人口と世帯数動向表【表1】

新川校区	世帯数	人口	年少	生産年齢	高齢者人口
			14歳以下	15～64歳	65歳以上
平成19年	3,815	7,522	880(11.7%)	4,658(62.0%)	1,984(26.4%)
平成24年	3,895	7,663	1,001(13.0%)	4,669(60.9%)	1,993(26.0%)
平成29年	3,945	7,781	1,086(14.0%)	4,546(58.4%)	2,149(27.6%)

\* 新川区外数(世帯数:18 人口:25人のうち、年少年齢者2人、生産年齢者23人)の数値も含まれます。

## ◆校区内の高齢化等分布表【表2】

(平成29年4月1日現在)

居住地	世帯数	人口	年少人口 (14歳以下)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
市道小串通り鍋倉線 以北	2,363	4,976	750(15.1%)	2,916(58.6%)	1,310(26.3%)
市道小串通り鍋倉線 以南	1,012	1,638	111(6.8%)	829(50.6%)	698(42.6%)
マンション等(15棟)	552	1,142	223(19.5%)	778(68.1%)	141(12.3%)

\*【表1】の新川区外数は含まれません。

## ◆主な地域課題

### (1) 高齢者等福祉の充実、健康づくり

校区全体において、今後、高齢化率の上昇が見込まれる中、「宇部市にぎわいエコまち計画」によって対策が講じられるとしても、中心市街地周辺の少子化、高齢化、人口の低密度化の進むことが懸念されます。さらに、核家族化や価値観の多様化、マンションなどの住宅建造物の密室化など様々な要因によって、地域のつながりが希薄化している現状があります。特に新川校区では地域内の特性（大きく南部・北部・マンションにおける実情の違いや共通点）の把握を踏まえた高齢者等福祉の充実、健康づくりが必要です。高齢者の単独世帯が増加している地域でもあります。高齢者等が孤立することなく、誰もが地域の中で、元気で、安心して暮らせる地域づくりをする必要があります。

### (2) 安心安全・防災・環境衛生美化活動

高齢者や子どもの交通安全を守る活動や地域全体の防犯対策の取組みの充実、また、地域の環境衛生美化は、安心安全な地域づくりの基盤になるものです。一方、地域としてダンボールコンポストの促進や3Rの推進、生ごみの水切りの促進によるゴミ減量化等に取り組むことは次世代にきれいな環境をつなげていく取組みとして必要です。こういう取組みを基盤に、校区全体で、地震や津波、台風による様々な災害等にそなえる自主防災体制を整えることが、喫緊の課題となっています。

### (3) 子ども・子育て・ふるさとづくり

地域のつながりが弱体化している現状がある中だからこそ、地域の中で地域の子ども同士がつながる場の設定や地域の文化や歴史を活動の中で体験できるイベントなどを工夫することが必要になります。そうする場の設定が、子どもを中心にして地域の親同士、近隣住民が互いにつながるきっかけづくりになり、ひいては地域人

材の発掘につながるものと考えます。また、地域の子育て世代の親たちが子どもを連れて自然に交流できる場を増やすことも必要です。

校区あげての夏祭りや文化祭をいつまでも大切な行事として盛り上げていけるように、後継者づくりを意識した取り組みも必要です。

#### (4) 地域コミュニティ力の強化

コミュニティの構成団体役員の高齢化、次世代の地域の担い手不足ということもあり、コミュニティの各構成団体間では役職を兼務する傾向が強まっています。現状のコミュニティ組織が、今、地域が抱える課題やこれから新しく派生する地域課題に対応し、行政やさまざまな関係機関と協働して主体的に地域コミュニティを運営していける組織としてあるためには、どうしていけば良いか、将来を見据えた協議が必要です。

### 2 新川校区地域計画【第2期】について

前記4分野における課題を踏まえ、特に(4)の地域コミュニティ力の強化に視点を置いた新川校区地域計画(第1期)を平成29年3月に策定しました。これに従って、平成29年度は現行のコミュニティ組織の見直しを行いました。

年間を通して校区内20のコミュニティ構成団体はそれぞれの目的を持って自主的、計画的に活動しています。現行のコミュニティ推進協議会という組織は、これらのコミュニティ構成団体の活動を支援、推進するという立場をとって活動しています。ただし、5月のふれあい運動会、7月の夏祭り、10月の文化祭については、コミュニティ推進協議会が実行委員会をつくり、全コミュニティ構成団体の協力の下に取り組んでいます。また、緊急の場合は、役員会、幹事会で協議し、理事会に諮る形をとっていますが、幹事会、理事会で構成団体間の横の連携をとって、地域課題へ対応するという点については難しい組織です。それでも、これまでは、この形を運用しながら、地域課題への対応に努めてきました。

しかしながら、今後、さらに人口減少化、超高齢化、少子化が進行して新しい課題が派生してくることを考えれば、現行の組織では対応が困難になる恐れがあります。これに対応する組織とするためには、各構成団体間の連携をはじめ、行政、その他の関係機関、様々な団体等と連携できる体制づくりをしておく必要があります。一朝一夕に組織を変えることは難しいことですが、現行の組織を見直すという観点から新川校区地域計画(第1期)を策定しました。第1期地域計画の期間を前倒したこともあって、今後取り組みを進めながら、より適切なものに修正していく必要はありますが、第1期地域計画を踏まえて、本計画「新川校区地域計画【第2期】」を策定しました。

### 3 本計画策定の趣旨

本計画は、これまで地域の先人や行政が創り上げ、積み重ねてきた地域づくりの成果

を踏まえ、現在及び今後、さまざまに派生する地域課題を解決していき、めざす将来の新川校区像を具現化するための一里塚とするものです。よって、この計画は必要に応じて見直ししながら、より良いものにしていくことが大切です。

#### 4 地域のめざす将来像

##### 「地域ぐるみで支え合う 明るく、住み良い、ふるさと新川」

- 子育て、高齢者、福祉、防災など、地域ぐるみで支え合える、誰もが元気で安心して安全に暮らせる地域。
- 時代の流れや社会情勢の変化の中で生じる課題を克服していける地域。

#### 5 課題解決の方向性

現行の新川校区各コミュニティ構成団体等の主な年間の活動は【表3】のようになっています。これらの活動は、各構成団体が明るく住み良い地域の発展に寄与する目的で、計画的に取り組んでいるものです。これらの取り組みをするためには、事前の役員会や理事会もあります。もちろん、こういう取り組みはすべて地域課題の解決につながっているものですが、それはあくまでもコミュニティの中の1団体としての、個別な取り組みであって、その取り組みには限界があります。しかも、各構成団体の構成メンバーの高齢化や新しい担い手不足といった構成団体内の組織力の低下といった観点からも、将来的には不安があるところです。

そこで、地域計画（第1期）を契機として、各構成団体間の連携や会議の精選、活動内容の見直しなどに取りかかるとともに、地域コミュニティ推進協議会の現行の幹事会を新しく派生してくる課題に対応する窓口としました。さらにその下に、「高齢者・福祉・健康づくり部会」「安心安全・防災・環境部会」「子ども・子育て・ふるさとづくり部会」の3部会を設け（【図1】新川校区コミュニティ運営組織図 参照）、それぞれの部会が部会ごとに協力して地域課題への解決に取り組むという方向性を取ることにしました。



◆ コミュニティ構成団体等の主な年間活動表【表3】

月	行事名	主催団体	月	行事名	主催団体	
4	春の全国交通安全運動	交通安全	9	敬老会準備	社協	
	真綿川塩田川をきれいにする連絡協議会(春)	真綿川・塩田川連協		さわやか講座3	女性の会	
	自治連総会	自治連		校区敬老会	社協	
	コミ総会	コミ		第1回文化祭実行委員会	コミ	
	社協総会	社協		秋の全国交通安全運動	交通安全	
	いそじ会健康教室	いそじ会		輪飾り、どんど焼き用薫手配	ふるさと運動	
	文教体育委員会総会	文体		自主防災会研修会	自主防	
	いそじ会総会	いそじ会		10	校区一斉空き缶回収・清掃	環衛連
	運動会説明会	コミ			共同募金運動	共同募金会
	春の真綿川河畔清掃	真綿川・塩田川連協			いそじ会成人学級	いそじ会
女性の会総会	女性の会	文化祭出展打合せ会議	コミ			
5	日赤募金	日赤新川分区	真綿川塩田川をきれいにする連絡協議会(秋)	真綿川・塩田川連協		
	新川交通安全の会総会	交通安全	市民ニューススポーツフェスティバル	宇部市		
	防犯対策協議会	防犯協	文化祭最終会議	コミ		
	運動会実行委員会	コミ	防犯指導者研修会	防犯協		
	見守り隊対面式(新川小体育館)	いそじ会・民協・自治連	福祉サロン(バス旅行)	社協		
	運動会最終会議	コミ	さつま芋収穫祭	まちづくりサークル		
	運動会準備	コミ	全国地域安全運動新川校区一斉パトロール	防犯協		
	校区ふれあい運動会	コミ	校区文化祭	コミ		
	いそじ会お茶教室	いそじ会	校区文化祭	コミ		
	環衛連新川支部総会	環衛連	いそじ会健康教室	いそじ会		
	自主防災会総会	自主防	新川ニューススポーツフェスティバル全体会議	文体		
	新川小教育後援会評議員会	自治連	秋の真綿川河畔清掃	真綿川・塩田川連協		
	チャレンジデー	宇部市	11	視察・体験研修	まちづくりサークル	
	人権教育推進委員協議会総会	人権協		文化祭反省会	コミ	
さわやか講座1	女性の会	新川ニューススポーツフェスティバル(1日スポーツの日)		文体		
ふれあい運動推進員総会	ふれあい	福祉委員・民生委員合同福祉講座		社協		
まちづくりサークル開講式	まちづくり	いそじ会健康教室		いそじ会		
運動会反省会	コミ	交通安全の会研修会		交通安全		
6	ふれあいセンター運営協議会	センター	自主防災避難訓練	自主防		
	ふるさと運動推進協議会総会	ふるさと	市民走ろう会	宇部市		
	300歳ソフトボール大会	文体	いそじ会親睦旅行	いそじ会		
	いそじ会成人学級	いそじ会	さわやか講座4	女性の会		
	福祉委員・民生委員合同研修会	社協	年末合同協議会	コミ・自治連		
	交通安全マスコット作成	交通安全	12	校区環境美化作業	環衛連	
	国保料理教室	女性の会		市民ソフトバレー大会	宇部市	
	いそじ会健康教室	いそじ会		いそじ会成人学級	いそじ会	
	環衛連新川支部研修会	環衛連		防犯委員研修会	防犯協	
	防災委員研修会	自主防災		年末年始交通安全県民運動	交通安全	
第1回夏祭り実行委員会	コミ	人権教育推進大会		人権協		
新川ニューススポーツフェスティバル会議	文体	いそじ会健康教室	いそじ会			
いそじ会健康講座	いそじ会	門松づくり	いそじ会			
7	市ふれあい運動推進大会	宇部市	顔の家年末大掃除	いそじ会		
	新川小枝切り・清掃作業	自治連	輪飾りづくり	ふるさと運動		
	校区一斉空き缶回収・清掃	環衛連	さわやか講座5	女性の会		
	社会教育推進委員会	社教推	新年互礼会	コミ		
	夏の交通安全県民運動	交通安全	新川連合いそじ会新年会	いそじ会		
	第2回夏祭り実行委員会	コミ	防災委員・理事研修会	自主防		
	ふるさと運動全委員会	ふるさと運動	県づくり	ふるさと運動		
	いそじ会健康教室	いそじ会	どんど焼き・風揚げ大会	ふるさと運動		
	女性の会全委員会	女性の会	いそじ会健康教室	いそじ会		
	親子バス旅行	社協	理事会(予算配分・会場予約等説明)	コミ		
8	夏祭り最終委員会	コミ	餅つき大会(小学校1年生対象)	ふるさと運動		
	福祉委員・民生委員合同福祉講座	社協	節分祭	いそじ会		
	校区夏祭り	コミ	新川小仮入学式児童交通安全教室	交通安全		
	夏祭り反省会	コミ	さわやか講座6	女性の会		
	いそじ会成人学級	いそじ会	そば打ち・おもてなし教室	まちづくりサークル		
	さわやか講座	女性の会	センター教室利用者会議	センター運営		
	前期自主防災会理事会	自主防	いそじ会健康教室	いそじ会		
	いそじ会健康教室	いそじ会	コミ配分検討会	コミ		
	駅伝ソフトボール大会	文体	コミ配分委員個別交渉会議	コミ		
	市民ソフトボール・バレーボール大会	宇部市	後期自主防災会理事会	自主防		
9	敬老会全体説明会	社協	3	いそじ会健康教室・成人学級閉講式	いそじ会	
	3世代ランドゴルフ大会	文体		3世代ふれあい行事	ふるさと運動	
	いそじ会健康教室	いそじ会		さわやか講座7	女性の会	

# ◆新川校区コミュニティ運営組織図【図1】

役員・理事等の人数構成

顧問【若干名】・会長【1名】・副会長【2名】・事務局長【1名】・事務局次長【1名】・  
 会計【1名】・幹事【5名】・部会長【3名】・副部会長【3名】・監査【2名】・理事【24名】・  
 事務統括者【ふれあいセンター館長】

## 幹事会

会長・副会長（2名）・事務局長・事務局次長・会計・幹事（5名）の11名で構成

互いの連携強化

子ども・子育て・ふるさとづくり部会  
 部会長・副部会長

- ・自治連
  - ・女性の会
  - ・いそじ会
  - ・社協（福祉委員・民児協）
  - ・子ども会
  - ・ふれあい運動
  - ・ふるさと運動
  - ・社教推
  - ・人権協
  - ・保護司会
  - ・新川小
  - ・新川小PTA
  - ・桃山中
  - ・桃山中PTA
- （以上14団体）

安心安全・防災・環境部会  
 部会長・副部会長

- ・自治連
  - ・女性の会
  - ・社協（福祉委員・民児協）
  - ・自主防災
  - ・環境連
  - ・防犯
  - ・交通安全
  - ・いそじ会
- （以上8団体）

高齢者・福祉・健康づくり部会  
 部会長・副部会長

- ・自治連
  - ・いそじ会
  - ・社協（福祉委員・民児協）
  - ・女性の会
  - ・文教体育
- （以上5団体）

桃山地域コミュニティタクシー運営協議会  
 放課後子ども教室

地域人材の発掘・育成・活用

理事会（31名構成）

総会（下記団体等より1名）

- ・ふれあいセンター
- ・桃山中学校PTA
- ・桃山中学校
- ・新川小学校PTA
- ・新川小学校
- ・新川校区保護司会
- ・新川校区自主防災会
- ・新川校区社会教育推進委員会
- ・新川校区ふれあい運動推進委員会
- ・新川校区人権教育推進委員会協議会
- ・新川校区ふるさと運動推進協議会
- ・新川校区子ども会育成連絡協議会
- ・新川校区防犯対策協議会
- ・新川交通安全の会
- ・新川校区文教体育委員会
- ・宇部市環境衛生連合会新川支部
- ・新川女性の会
- ・新川連合いそじ会
- ・新川校区社会福祉協議会
- ・（新川校区民生児童委員協議会）
- ・新川校区各自治会（65自治会）

## 6 地域課題の解決に向けて

(1) 各コミュニティ構成団体単独では解決の難しい、新たな地域課題を解決していくことはこれからの地域づくりにとって、とりわけ重要な意味を持つものと考えます。コミュニティ構成団体は、各構成団体の活動目標に従った活動に取り組んでいますが、一方では、部会として対応する新たな地域課題の解決に向けて、部会



を構成する他の構成団体等と協力・連携を図りながら取り組んでいくことが必要になります。これらを両立させるためには、各団体の中での会議の精選や活動内容の見直しについて、引き続き工夫していくことが大切になります。

- (2) 各部会としては、部会として取り組む地域課題の中から、最優先課題を決めて、期間を区切って課題に取り組んでいくことが、効果的であると考えます。
- (3) 地域の課題解決や活性化、新たな地域の魅力を創設する取り組みをする上で、財源を確保、補充するために、本地域計画を基に、宇部市の助成金【宇部市地域創生事業助成金など】の有効活用をしていく必要があります。
- (4) 3部会に共通する課題として、コミュニティ活性化のために、次世代の担い手を発掘・活用する方途を工夫していくことが、非常に大切になります。

子ども会活動からコミュニティ活動へ、サークル活動やボランティア活動からコミュニティ活動へとつながる、かつての人材登用の流れが薄らいでいる現状の中にあって、コミュニティとして、自治会選出の委員の活用や小学校や中学校のPTA関係者との連携を深める取組みなどを工夫することで、コミュニティ活動への参加のきっかけをさまざまに作っていく必要があります。

## A 高齢者・福祉・健康づくり部会

### (最優先課題)

- 高齢者等要支援者の実情把握のための情報の集積と情報整理。
- 高齢者世帯が増加する中において、日常生活をする上での困り感の把握やそれへの対応。

### (各コミュニティ構成団体等の活動目標に従った活動)

高齢者・福祉				健康づくり	
敬老会	社協	福祉委員・民生委員会同福祉講座	社協 民児協	健康教室・講座	いそじ会
福祉サロン	社協	お茶会	いそじ会	スポーツ大会(市老連・いそじ会)	いそじ会
支え合い会議	社協	成人学級	いそじ会	ラジオ体操	いそじ会
いそじ会旅行	いそじ会	さわやか講座	女性の会	ソフトボール大会(300歳・駅伝)	文体
高齢者の見守り活動	民児協 社協			ニュースポーツ	文体
高齢者自転車講習会	交通安全			三世代Gゴルフ大会	文体
				ソフトバレー大会	文体
				サークル(ソフトバレー・バレー・バドミントン)	文体
				ふれあい運動会	コミ
				栄養教室(クッキングセミナー)	女性の会

## (解決すべき課題)

### (1) 地域で支え合う仕組みづくり。

#### ①高齢者等要支援者の実情把握のための情報の集積と情報整理。

- 地域で支え合う仕組みづくりの基盤となるのは、実情把握です。近隣相互の人間関係の希薄化や価値観の多様化、マンションなどの住居建造物の密室構造化など、さまざまな要因で、この実情把握が難しくなっています。また、新川校区では、南部と北部、マンションでは、実情に違いがあります。こういう中において、必要な情報をどう集め、整理し集積していくか、具体的な取り組みが必要です。
- 市社協、中部第2地域包括支援センター、市高齢者総合支援課、地域・保健福祉支援チームとの有機的な連携の強化が大切になります。

#### ②高齢者世帯が増加する中において、日常生活をする上での困り感の把握やそれへの対応。

- ゴミ捨てや買い物、通院など、地域の中で「ちょっとした困りごと」を抱え、手助けを必要としている人と手助けできる人との仲介支援をしていく手立てを工夫していくことが必要です。支援の仕方の一つとしては、「地域の中での支え合い」「お互い様」の文化を継続していくために、利用料（労働の対価ではなく、お礼の形を事前に決めておくというやり方）を仲立ちとして対応していく「住民参加の有償助け合い活動」の考え方も視野に入れていく必要があります。

#### ③高齢者世帯の社会的孤立や孤立死を防ぐ取り組み。

- 地域の中で、高齢者間、異世代間のコミュニケーションが自然にとれる場の設定として、空家の利活用なども視野に入れて、更に、小地域内でのふれあいサロン等の立ち上げ、運営支援をしていく必要があります。
- 自治会内の班の中での見守りや業者との連携など、高齢者の見守り活動を工夫していくことも必要です。

#### ④高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも元気に日常生活を送っていくために必要な取り組み。

- 内容や提供方法を工夫した、生活に役立つ情報の提供が必要です。
- 健康寿命の伸長をめざす、心地よい交流の場、生きがいづくり、適度な運動を取り入れた健康づくり支援が大切です。

### (2) 健康づくり

- ①渡辺翁記念会館前で行われているラジオ体操や年齢・個人に合った各種スポーツ、地域行事、健康づくり教室など、世代を超えて、校区住民の健康づくりの輪を広げる取り組み。

②新川ガイドマップを活用して、歩こう会などのイベントづくり、散歩コースの紹介などをしていく取り組み。

## B 安心安全・防災・環境部会

### (最優先課題)

- 校區子ども見守り隊の再編。
- 地域防災体制の基盤となる地区防災計画の策定。

(各コミュニティ構成団体等の活動目標に従った活動)

安心安全		防 災		環 境	
(春・夏・秋・年末)交通安全運動	交通安全	(前期・後期)防災研修会	自主防	真締川河畔清掃	真締川・塩田川をきれいにする協議会 環衛連
一斉街頭指導	交通安全	防災訓練	自主防	空き缶回収	環衛連
ブロック街頭指導	交通安全	防災資機材の定期点検	自主防	校区環境美化作業	環衛連
夜間パトロール	防犯	小学校避難訓練への協力	ふれあい 自主防	ごみ減量推進	環衛連
歳末自治会パトロール	防犯・自治連			ダンボールコンポスト	環衛連
ブロック会議	自治連			ごみ分別研修会	環衛連
子ども見守り隊	いそじ会・自治連・民界協			環境施設見学会	環衛連

### (解決すべき課題)

- (1) 警察等関係機関、団体との連携を図りながら、高齢者が加害者にも被害者にもならないための交通安全啓発やうそ電話詐欺などの被害防止等に向けた取り組み。
- (2) 地域全体で備える自然災害等への自助、互助、共助の体制づくり。
  - 地域防災体制の基盤となる地区防災計画の策定は喫緊の課題です。
  - 地域住民の防災意識を高めるための研修の企画実施をしていくことが大切です。
  - 地区防災計画に基づく避難訓練を実施することにより、地区防災計画をより良いものに更新していくことが重要です。
  - 避難所拠点要員や防災危機管理課、地域福祉課、消防団等との連携をさらに強化していくことが大切です。
- (3) 快適な地域環境づくり
  - 地域の環境意識を高め、3Rの推進やゴミの減量化、家庭からの地球温暖化対策、さらには不法投棄や空き缶、ゴミ、たばこの吸い殻などのポイ捨てなどのない、快

適な地域環境づくりは住みよい地域づくりの基盤となります。

#### (4) 校区子ども見守り隊の再編

- 見守りネット連絡協議会の組織が崩れ、現在は、全員が集まる会合も行われないうま、個人の活動に頼っているところが大きく、組織再編をする必要があります。
- 継続可能な組織づくりが必要です。

### C 子ども・子育て・ふるさとづくり部会

#### (最優先課題)

- 新川ガイドマップ（名所案内や散策、健康づくりに有用）の更新とふれあいセンターのマップ看板の更新。
- 校区の子ども会活動が衰退している中、地域の子どもたちやその親たち、近隣住民が、子どもを中心にしてつながり、地域への愛着をより深めていけるような取り組みの工夫。

(各コミュニティ構成団体等の活動目標に従った活動)

子ども・子育て				ふるさとづくり	
英語教室	子ども教室	親子バス旅行	社協	夏祭り	コミ
Gゴルフ教室	子ども教室	入学児童への記念品贈呈	社協・交通	文化祭	コミ
将棋教室	子ども教室	新川小への教育後援	自治連	しめ縄づくり	ふるさと
お菓子作り教室	子ども教室	新川小植木伐採・清掃	自治連	どんど焼き	ふるさと
盆踊練習	子ども教室	小学生自転車乗り方教室	交通安全	凧づくり	ふるさと
おもしろ科学教室	子ども教室	育児サークル	母推・社協 民児協	凧揚げ大会	ふるさと
学校運営支援	学校運営協議会	未就学児支援	母推	三世代史跡めぐり等	ふるさと
いじめ対策支援	学校運営協議会	通学路調査等	母親クラブ	餅つき大会	ふるさと
昔遊び	学校運営協議会 おやじの会	人権学習会・大会	人権教育	さつま芋の収穫	まちづくり 社教推
あいさつ運動	ふれあい			門松づくり	いそじ会
(校区内外)(夜間・夏祭り・ 宇部祭りなど)ハトロール	ふれあい			そば打ち体験	まちづくり 社教推

#### (解決すべき課題)

##### (1) 新川ガイドマップ（名所案内や散策、健康づくりに有用）の更新とふれあいセンターのマップ看板の更新。

- 更新した後の活用方法をも視野に入れて、更新を行うことが大切です。このマップが、子どもたちと一緒に新川の名所めぐりや真締川散策をするためのコースづくりに活用できるものであったり、地域住民の健康づくりに活用できるものであった

りすることが大切です。また、災害時緊急避難場所や避難所の記入を行い、地域防災に役立つものにしておくことも必要です。さらに、この更新原稿を使って、ふれあいセンター壁面の古くなったマップ看板を更新することにより、校区内外への情報発信の効果を上げることも大切です。

## (2) ラジオ体操で、子どもから高齢者までが集える交流の場をつくる取組み。

- 地域で行われているラジオ体操を夏休み前の子どもたちに知らせ、地域で行っているラジオ体操の輪の中に子どもたちや保護者を巻き込み、子どもから高齢者までが集える交流の場にするのが大切です。

## (3) 子どもを中心に、地域の子どもたちやその親たち、近隣住民が交流できるようにする取組みの工夫。

- 校区の子ども会活動が衰退している中、地域の子どもたちやその親たち、近隣住民が、子どもを中心にしながら、地域への愛着をより深めていけるような取組みの工夫が必要です。

## (4) 地域の子育て世代の親が自然に交流できる場の設定。

- 校区の子育てサークルの充実を核にした幅広い取組みが大切です。

## (5) 子どもが外遊びできる場の設定。

- 小学校に運動場はあるが、スポーツ少年団などが使用する関係もあって、子ども達が安心して外遊びできる場所がない状態が続いています。(4区、4-1区、8-3区、8-5区、5-1区、5-3区など) 外遊びできる場をどのように作っていくか、協議していく必要があります。

## (6) 子どもの貧困等の実情把握

- 学校との連携による子どもの孤食や個食、いわゆる子どもの貧困の実情把握をして、地域としての取組みを協議していくことが必要です。

## (7) 新川小学校・桃山中学校との連携の強化。

- 新川小児童や桃山中生徒の地域行事(運動会、夏祭り、文化祭、敬老会など)への参加者を増やす取組みやできるなら準備段階からの参画を工夫することも大切です。

## 幹 事 会

(地域課題解決に向けての役割)

- ◆以下のように、以上の3部会では対応の難しい地域課題に対応するための窓口としての役割を受け持ちます。

## (3部会では対応が難しい課題)

### (1) 地域資源の活用

- 大学という地域資源がある新川校区、大学職員や大学生、留学生と地域が交流できる場を工夫することによって、さらに地域の活力や、防災能力を高めていく取り組みをする必要があります。

### (2) 地域内交通の検討

- バス路線（桃山線など）廃止に伴い、地域内交通の導入について関係自治会等の意見調整をしていく必要があります。

### (3) 宇部市のまちづくり計画への理解

- 宇部市のまちなか再生（「宇部市にぎわいエコまち計画」等）に伴う、行政や関係団体等の取り組みとの連携をコミュニティ活動の活性化という観点からも進めていく必要があります。

### (4) コミュニティ行事の工夫

- 祭り、イベント等、楽しい活動を通して、校区内の人と人とのつながりを深める取り組みの工夫を続けていくことが大切です。

## 7 おわりに

平成29年3月に策定した第1期新川校区地域計画に従って、平成29年度にはコミュニティ推進協議会を、地域課題への対応力強化をめざす地域運営組織とするための見直しを行いました。第1期地域計画では、3部会の立ち上げからコミュニティ推進協議会の規約の改正までの期間を2年間としていましたが、計画を1年早めて平成30年4月の総会で規約改正の承認を得ることとしました。

平成30年度から3部会が本格的に地域課題の解決に向けて取り組むことになりましたが、活動していきながら生じた課題には、その都度的確に対応し、解決のために組織を挙げて知恵を出し合っていく必要があります。計画の実行には多くの労力を必要としますが、より魅力ある新川校区にするためには、良きにつけ悪きにつけ、新川校区のコミュニティに係わっている者でしかできないことが多いものです。本第2期新川校区地域計画を今後の活動の足場として、第1歩を踏み出していきたいと存じます。各方面からの御支援・御協力をよろしく申し上げます。

